

## 研修報告書 No.31

研修先：土佐市民病院

私は、土佐市民病院で1カ月間の地域医療研修を行いました。土佐市民病院での研修は、内科外来診療を中心に、外科・耳鼻咽喉科・小児科の外来および病棟管理、救急対応や当直業務など、多岐にわたる業務を経験できました。地域の中核病院として幅広い役割を担う現場で、日々多様な患者さんと向き合う貴重な機会となりました。

内科外来では1ブースを担当し、医療面接・身体診察から必要な検査のオーダー、鑑別診断の検討、治療方針の決定までを自ら行うスタイルで診療にあたりました。これまでの研修ではここまで自由度の高い外来診療を経験したことがなく、最初の1週間は大きな不安を抱えていました。しかし、上級医の先生方をはじめ、外来看護師などの医療スタッフの方々の温かいサポートにより、徐々に診療に慣れていくことができました。その結果、1カ月間で非常に多くの患者さんを主体的に診療することができ、自身の成長を実感する研修となりました。

また、外来診療の中で入院が必要と判断した患者さんについては、上級医の先生の指導のもと、自らが主治医として病棟診療を担当しました。外来で出会った患者さんが入院治療を経て回復し、元気に退院されるまでを一貫して診ることができた経験は、普段主に病棟管理を行っている私にとって非常に印象深いものでした。外来から入院、そして退院までを通して患者さんを支える医療の流れを実感できたことは、地域医療の本質を学ぶ上で大きな学びとなりました。

さらに、整形外科志望であることをお伝えしたところ、整形外科の先生方の配慮で、肩関節脱臼の整復や鎖骨骨折に対する手術に参加する機会を得ました。実際に整復手技を経験し、手術では術野の展開や固定方法などを間近で学ぶことができ、教科書だけでは得られない多くの知識を吸収することができました。

診療のみならず、病院経営の観点からも多くの学びがありました。検査や治療内容に応じた病名登録を正確に行い、算定可能な加算を確実に取得する体制が徹底されており、医療の質を保ちながら健全な病院運営を支える姿勢を実感しました。日々の診療の中でその意識が自然に実践されていることに感銘を受け、今後は医療の質と経営の両立を意識していきたいと感じました。

本研修を通じて地域特性についても深く考えさせられました。高知県は地理的に山間部や沿岸部が多く、交通手段が限られている地域も少なくありません。実際に、近くにあったクリニックが閉院したことにより、遠方からバスを利用して当院を受診される患者さんもいました。その姿から、土佐市民病院が単なる急性期病院としてだけでなく、かかりつけ医のような役割も担っていることを強く実感しました。地域医療においては、専門性だけでなく

く、患者さんの生活背景や社会的状況を踏まえた包括的な視点が不可欠であることを学びました。

最後に 1 カ月間という限られた期間ではありましたが、主体的に診療に携わり、多職種と連携し、地域に根ざした医療を学ぶことができた本研修は、今後の医師人生における大きな糧となりました。この経験を大切に、将来は専門性を高めながらも地域社会に貢献できる医師へと成長していきたいと考えております。